

ニーズ

廊下・通路等の照明を自動化し省エネを図りたい

用途

外光等により昼間明るい共用部等に！
 (例)廊下、EVホール、階段、トイレ



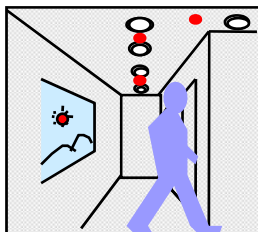
WRT3364K
 熱線センサ付自動スイッチ
 (親器・広角検知形)

ご使用例

共用通路照明を熱線センサ+ソーラタイマにより自動化

- ・朝～夕は照明を点灯させません
- ・人通りの多い、夕～20:00は強制点灯(休日は人を検知した時のみ点灯)
- ・人通りの少ない、20:00～翌朝までは人を検知した時のみ点灯

朝～夕

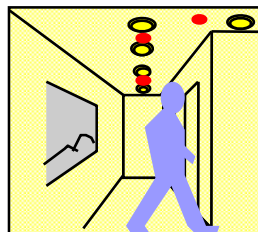


ソーラタイマにより強制消灯



人を検知しても点灯しません

夕～20:00



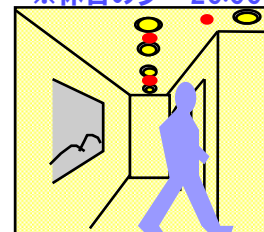
ソーラタイマにより強制点灯



人が居なくなっても消灯しません

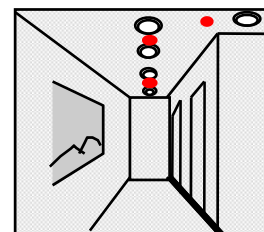
20:00～翌朝

※休日の夕～20:00



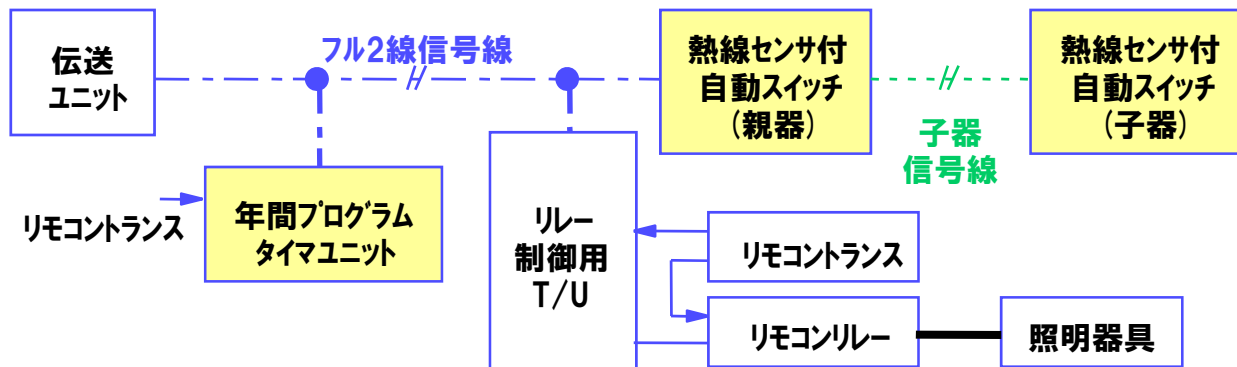
検知し点灯

人が居なくなれば



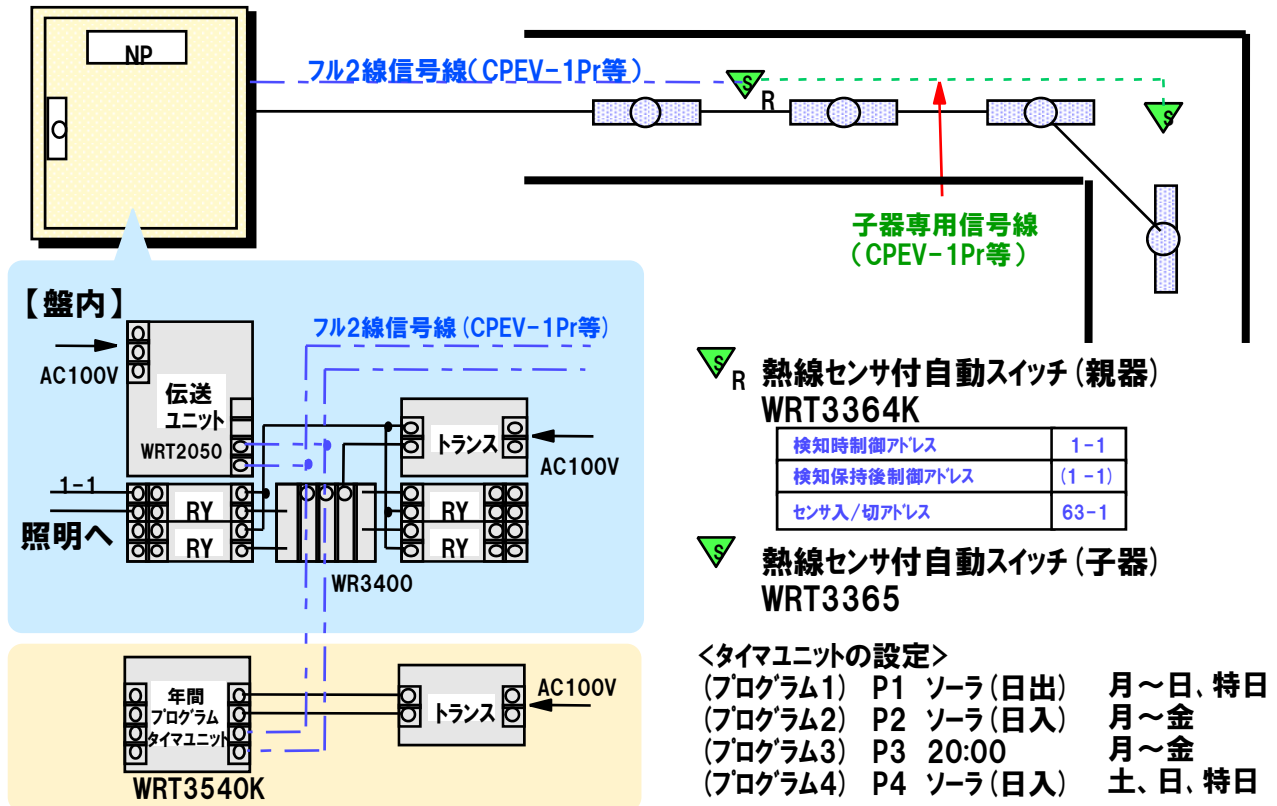
自動的に消灯

構成図



詳細説明

フル2線リモコン基本構成+熱線センサ(親器)、熱線センサ(子器)、タイマユニット、リモコンランスにより構成



動作説明

・・・平日の動作(休日は夕～朝までセンサ自動状態になります)

【朝～夕・・・照明消灯、センサ停止】 P1・・・1-1 OFF,63-1 OFF
日出時刻→P1制御→照明消灯,センサ停止(人の検知に関係なく消灯)

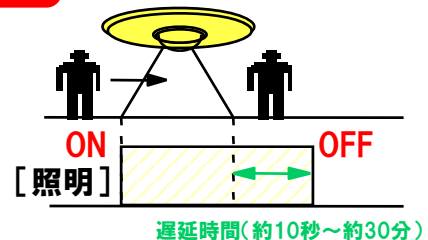
【夕～20:00・・・照明点灯、センサ停止】 P2・・・1-1 ON,63-1 OFF
日入時刻→P2制御→照明点灯,センサ停止(人の検知に関係なく点灯)

※休日の場合 P4・・・63-1 ON
日入時刻→P4制御→センサ自動(人の検知により点灯)

【20:00～朝・・・照明自動、センサ自動】 P3・・・1-1 一時点灯30秒,63-1 ON
20:00→P3制御

※ P3に「1-1 OFF,63-1 ON」とすると人がいる場合でも一度消灯してしまいます。
「1-1 一時点灯30秒,63-1 ON」とすることにより人がいる場合でも消灯せずセンサ検知状態に移行できます。

センサ自動 センサ検知によりON/OFF



<ご注意>

・パターン・グループ制御内容の設定は小形P・G設定器(WRT9600)等にて設定してください